

いぎいぎ美浦に人咲く 夢咲く 福祉咲く



美浦村

2017.7.1

Vol.

74

しゃきようだより



三世代輪投げ大会

今年で第19回目をむかえた、
世代間の交流を深める社協イベントです。

特集 身近なペット「金魚」を飼ってみよう

- 平成28年度 美浦村社会福祉協議会 事業報告・決算報告
- 三世代輪投げ大会 ●日常自立支援事業 ●大切にします！あなたの善意
- 美浦でみつけた懐かしい風景 ●熱中症の予防と対策



美浦村しゃきようだよりの発行は「赤い羽根共同募金」の配分金事業で行われています。



日本人に愛される身近なペット

“赤いべべ着たかわいい金魚～” 童謡でも親しまれる身近なペット、金魚。また、お祭りなどの金魚すくい、手に入る事も多いと思います。そんな金魚の魅力を特集してみました。



特集

身近なペット

「金魚」

を飼ってみよう！

金魚の先祖はフナ？

金魚の先祖は中国生まれです。今からおよそ1700年前（日本では古墳時代）、中国大陸南部において黒っぽいフナの中から赤いフナを発見しました。それを珍しいものとして捕獲し、池で飼育したのが金魚の先祖だと伝えられています。つまり金魚は現在見られるような色や形をした魚ではなく、もともとはフナの突然変異として生まれたのです。

日本に来たのはいつごろ？

中国で1000年以上品種改良が重ねられ、金魚が日本に輸入されたのは、室町時代の中頃（16世紀初め、今から約500年前）当時貿易港として栄えていた堺（大阪府堺市）に持ち込まれたのが最初だとする説がもっとも有力とのこと。当時、金魚は非常に高価で、一般庶民が手に入れられるものではなく、江戸時代に入ってから、その初期の頃はお金持ちの商家や上流武家での飼育のみに限られていたようです。

そんな金魚が庶民にも広まったのは…

その後、養殖技術が発達し、江戸中期に堺の商人による日本初の金魚飼育ガイドブック「金魚養玩草」（きんぎょそだてぐさ）が発刊されました。江戸時代の後期になると、普通の町人たちの間でも飼われるようになり、さらには浮世絵や家具・着物の柄にも金魚が描かれ、庶民にとっても金魚は身近な生き物になりました。

金魚養玩草（きんぎょそだてぐさ）▶



「金魚すくい」の金魚を長生きさせるには

さて、「今日のお祭りでは金魚すくいをやるぞ！」と決めたら、朝、バケツに水道の水を汲み置きし、水1リットルに対して塩を小さじ一杯の割合で溶かしておきましょう。



夜、おまつりから持ち帰った金魚は、袋に入れたままバケツの水の中に浮かべ、30分ほどそのままにします。「水あわせ」ができれば、一週間ほど「塩水浴」をさせます。塩分濃度0.5%の塩水が、ちょうど金魚の体内浸透圧と同じ値であるため、ストレスで弱った金魚の体を養生させるということでは最適の環境なのです。「塩水浴」の間、エサはあげないこと。エサやりはかえって体調をくずします。金魚は10日くらい絶食しても平気な生き物だそうです。



品種もいろいろ、代表的な金魚を紹介します



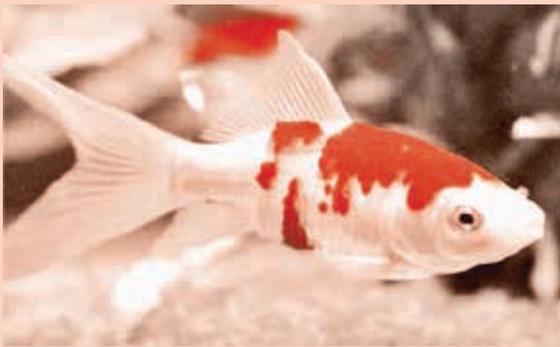
デメキン

飛び出た目が特徴の金魚。代表的なクロデメキンの他、赤い体色のアカデメキン、まだら模様のサンショクデメキンもいます。



ワキン

金魚の原種、フナに最も近い品種。また、すべての品種のもとになっています。金魚すくいでもおなじみの、丈夫で病気にも強い、金魚飼育の入門に最適です。



コメット

ワキンタイプの体型ですが、長い尾びれを持つ、アメリカで生まれたワキンとリュウキンの交配品種です。この品種もワキンと同じく、丈夫で飼いやすいです。



リュウキン

中国から琉球（沖縄）経由で渡来したのが、名前の由来です。ずんぐりした体形と長い尾びれが特徴です。

紹介した金魚の中では、ワキンやコメットが丈夫で飼いやすい品種です。デメキンやリュウキンは体が短いため消化管も短く、エサを食べ過ぎると体調不良になったり、病気にもかかりやすいなど、結構デリケートですが、多数ある品種の中では比較的飼いやすい金魚といえそうです。

他にも愛好家が多いランチュウや、近年見かけることが多くなったピンポンパールなどは、値段も高く、飼いがむずかしいので初心者はやめておいた方がよいでしょう。

番外編

霞ヶ浦にすんでいる 金魚の仲間

ギンブナ（マブナ）ゲンゴロウブナ（ヘラブナ）、これらはコイ科・フナ属で金魚の親戚です。



ギンブナ

金魚の先祖、中国の「ギベリオブナ」の近縁種。霞ヶ浦や周辺の水路で普通に見られ、釣りのターゲットとして最もポピュラーな魚です。大きなものでは30cmくらいに成長します。



平成28年度社会福祉協議会事業報告

◆地域の福祉力向上

○社会参加推進

住民が地域社会に参加し、仲間を作ることでいきいきとした人生を送ることを目的としたサロン活動を支援（6団体に助成）することで、介護予防や閉じこもりの防止を行いました。また、普段、映画館に行く機会が少ない方に対して、みんなで一緒に映画を見る機会を提供する「映画上映会（サクラ花）」を、村・教育委員会と共催で実施しました。

○福祉交流活動

行事を通して世代間交流を深めることを目的として、親・子・孫が輪投げを通して交流する「三世代ふれあい輪投げ大会」（152人）、レクリエーションを通じて高齢者と幼児が交流する「保育所児と高齢者のふれあい運動会」（221人）を開催しました。

○福祉教育活動

福祉への理解と関心を深め、思いやりの心を育成するため、村立小中学校に福祉教育の推進助成金を支給しました。

○広報事業

福祉情報の提供と福祉意識の啓発を目的として、社協だよりの発行（年4回）、ホームページの運営、マスコットキャラクターみほちゃんの着ぐるみを用いた

各種イベントに登場させ、PR活動を行いました。



社協イベントで「みほちゃん」をPR

○その他の関連事業

地域福祉団体の活動支援を行いました（5団体）

◆児童・高齢者・障害者福祉

○高齢者祝賀

永年にわたり社会に貢献された高齢者の長寿等を祝福することで、福祉の増進を図ることを目的として、敬老会（村と共催301人）、村内最高齢者祝、喜寿祝（54人）、金婚祝（14組）を実施しました。

○歳末たすけあい支援

支援を必要とされる方々が温かな年末年始を迎えることを目的として、商工会発行のクーポン券やシルバー人材センター利用券の贈呈（計224世帯）を行いました。

○サンタ訪問

支援を必要とされる母子・父子・障害者世帯に対し、サンタクロースがお宅を訪問し、お菓子をプレゼントしました。（33人）

○小学校入学祝品の贈呈

表面は障害者マーク、裏面は各校歌をデザインした下敷きを、村内小学校及び美浦特別支援学校初等部に入学する児童106人に贈呈しました。

○自立支援センター ホープ

就労が困難な障害者が、地域社会で自立ができることを目的として、内職や生活訓練を中心とした通所事業を実施しました。（28人）

○見守り配食サービス

ひとり暮らし高齢者の健康増進と安否確認を目的として、民生委員やボランティア団体等のご協力を得て、51人へ月2回（年24回）夕食用の弁当を配達しました。

○福祉用具・車両貸出

高齢者や障害者等の生活の質が向上することを狙いとして、車イスおよび、

車イスが乗れる福祉車両を計60回貸し出しました。

○シルリハ体操指導士会運営支援

村内における高齢者の介護予防推進を目的にしたシルリハバビリ体操指導士会の事務局として、指導士の活動を支援しました。

○おもちゃ図書館

障害の有無にかかわらず、子どもがおもちゃをとおして遊び育つ場を提供するため、福祉センターでおもちゃ図書館を運営しました。（現在はみほふれ愛プラザで開催中）



○日常生活自立支援事業

認知症の高齢者、知的・精神障害者等で判断能力が十分でない方の福祉サービスの利用援助や、日常の金銭管理等を行いました。

○地域見守り活動

地域の安心・安全の確保を目的に、村老人クラブ連合会と連携し「みほ見守り隊・老連」を発足し、27地区で延べ3870人が、下校児童・ひとり暮らし高齢者の見守り活動を行いました。



◆子育て支援

○いきいき子育て支援金

子どもを安心して生み育てることのできる環境づくりを支援することで地域の活力が生まれるよう、村内在住で1〜3歳の第3子以上を養育する家庭に対し、支援金を30人に支給しました。



地域の見守り活動を行っています

○ひとり親家庭支援

経済的負担を軽減し、児童・生徒の健全な育成のため、小学校・中学校に入学するひとり親家庭へ入学祝金を贈呈しました。

◆ボランティアの育成・活動支援

○ボランティア活動基盤づくり

ボランティアをしたい人と頼みたい人を上手に結びつけるため、ボランティアセンターで、地域のボランティア活動

の支援・育成を行いました。(団体登録36団体397人、個人登録35人)

○みほちゃん広場の開催

ボランティア育成の一環として夏休み中の子どもの学習、食事・遊びの場を提供し、子育て支援を行いました。(延べ参加人数174名)。



ボランティアによる学習指導

◆心配ごと・法律相談

村民の悩み事・心配ごとを解決することを目的に、心配ごと相談を月2回、弁護士による法律相談を月1回開催しました。

◆善意銀行・やまゆり基金運営

○寄付金の受入

善意を持って寄せられた金品を受け付けており、28年度は、380,164円の寄付金と72件の寄付品をお預かりしまし

た。また、村内の商店・施設に依頼して、募金箱を12ヶ所に設置しております。

◆低所得者等福祉対策

○生活福祉資金貸付・小口資金貸付

低所得世帯や高齢者、障害者の自立や生活の安定を目的として、民生委員等の関係機関・団体の協力のもとに資金の貸付事業を行いました。

○フードバンク

フードバンク茨城より提供を受けた食材で、低所得者を対象に一時的な食糧支援を行いました。

◆介護保険事業

○通所介護

美浦村デイサービスセンターにおいて送迎を行い、食事や入浴、排泄介助、機能訓練(リハビリや口腔ケア)、レクリエーションなどのサービスを行いました。その他、毎月の誕生会や季節のイベントなども開催しました。(利用者延べ7116人)

○訪問介護

ご自宅へホームヘルパーを派遣して、家事援助や身体介護を提供しています。(利用者延べ2073人)

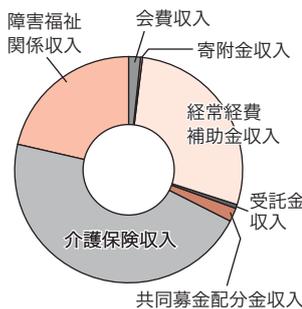
○居宅介護支援

介護保険サービスを利用される方の「介護サービス計画」の作成、相談、連絡調整を行っています。(利用者延べ957人)

平成28年度決算報告

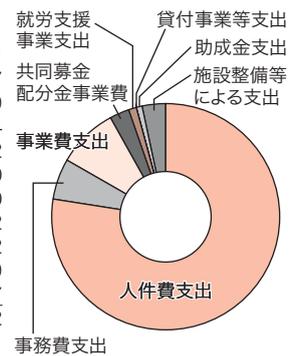
収入の部

金額(円)	
会費収入	3,066,152
寄附金収入	380,164
経常経費補助金収入	44,965,340
受託金収入	740,300
共同募金配分金収入	3,510,655
介護保険収入	73,928,136
障害福祉関係収入	34,159,069
財務活動等による収入	1,200,000
その他	833,971
前期末支払資金残高	72,025,125
収入計	234,808,912



支出の部

金額(円)	
人件費支出	118,805,277
事務費支出	8,820,899
事業費支出	13,329,614
共同募金配分金事業費	3,850,812
就労支援事業支出	1,790,530
貸付事業等支出	275,000
助成金支出	1,194,002
施設整備等による支出	4,805,882
財務活動等による支出	12,327,219
当期末支払資金残高	69,609,677
支出計	234,808,912





優勝「大山 C チーム」とみほちゃんの記念撮影

6月3日、開始1時間前から木原の農トレに大勢の参加者が集まる盛り上がりの中、第19回三世代輪投げ大会(協力:村老人輪投げクラブ)が開催されました。会場に設置した練習台には長い列が出来、皆さん優勝目指して頑張ってくれました! 39チーム156名が参加した今大会、見事優勝を飾ったのは大山Cチーム! メンバーの橋本玲維さんは「一週間くらい練習しました。よく出来たと思います。」との事、輪投げクラブ会員でもある宮下博義さんは「狙い通りにはいかなかったけれど、思ったより入ったかな。優勝出来て良かったです。」と話してくれました。優勝おめでとうございます! 参加者の皆さん、お疲れ様でした。

39チームが大熱戦
三世代輪投げ大会



準優勝は「大山東部 A チーム」のみなさん



第3位に入賞は「見晴 A チーム」でした

「日常生活自立支援事業」のご案内

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者などで判断能力が不十分な方々が、住み慣れた地域で安心して自立した生活が送れるように、福祉サービスの利用手続きや、生活費などの金銭管理のお手伝いをし、その生活を支援します。

支援の内容

- ・福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理サービスなど(1時間1,100円)
 - ・書類預かり等サービス(保管料1ヶ月当たり500円)
- ※生活保護を受けている方は、利用料が免除されます



印鑑や通帳など何処にしまったかわからなくなり困っていたけど、預かってもらっているから安心だわ。



何の請求書かわからなくて、困っていたけれど、ちゃんと支払いができるようになってよかった。

～相談からサービス開始まで～

まずは社会福祉協議会へご相談ください。ご本人以外でも、ご家族など身近な方、行政の窓口、民生委員などを通じてのお問い合わせでもかまいません。



専門員がお伺いします。担当職員がご自宅等を訪問し、お話しを伺います。ご相談にあたってはプライバシーに配慮し、秘密は必ず守ります。



お困りのことを一緒に考え、支援計画をつくります。どのようなお手伝いをしたら良いかなど、ご希望をお聞きして、その後で契約内容と支援のしかたをご提案します。



契約を結んでからサービス開始です。利用者と社会福祉協議会とが契約を結び、支援計画にそって生活支援員が支援を行います。

相談は無料です! まずは、お気軽にお問い合わせください。

※ご相談からサービス開始まで2ヶ月程度です。

<平成 29 年 4 月 10 日～平成 29 年 6 月 12 日寄付分>

◇善意銀行

友駿健康麻雀倶楽部 様
..... ¥5,952

◇やまゆり基金へ

匿名..... ¥100,000

◇フードバンク茨城へ

東京鋼器(株) (即席味噌汁)

◇村内設置募金箱より

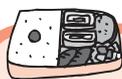
平成 28 年度の募金箱は総額は総額 ¥40,225 でした。ご協力ありがとうございました。

募金箱設置団体名	金額
あたりや食堂 様	¥18,148
ニューかわざし 様	¥1,047
キッチン夢 様	¥1,146
る・ぱるく 様	¥13,298
筑波銀行美浦支店 様	¥1,634
常陽銀行美浦支店 様	¥509
J A 稲敷安中支店 様	¥64
J A 茨城かすみ本店 様	¥407
美浦郵便局 様	¥1,153
美浦木原郵便局 様	¥2,501
美浦村保健センター 様	¥348
合計	¥40,255



大切にします！あなたの善意

美浦村社会福祉協議会では、寄付金の他、使用済み切手や使用済みテレフォンカード、書き損じ葉書を受け付けています
※使用済み切手を収集の場合、切手のまわりの余白を5ミリ～1センチ位残して切り取り、日本切手と外国切手に分けてください。



見守り配食サービス



70 歳以上の独居高齢者で見守りが必要とされる方に、食生活の支援と安否確認を目的として、ボランティアの方による手作りのお弁当を民生委員やボランティアが月 2 回お届けします。
【お問い合わせ】TEL：885 - 7080



車いす/福祉車両貸出

高齢者や障害者等の外出支援として、車いすや福祉車両(車いす用リフト付車両)を貸出します。
◇福祉車両利用料金(車いすは無料)
保険料(1 日 500 円) + 走行距離(1km x 14 円)
【お問い合わせ】TEL：885 - 0038



美浦村おもちゃ図書館



世界中で長く愛されている良質のおもちゃたちが、あなたのお子さんに遊んでもらうのを待っています。

- ◇対象 美浦村にお住まいの障害児/未就学児
- ◇開催日 毎月第 2 / 第 4 土曜日
午前 10 時 ~ 11 時 30 分
- ◇場所 みほふれ愛プラザ
- ◇内容 おもちゃでの遊び
おもちゃの貸出

いきいき子育て支援金

子供を安心して産み育てる事の出来る環境作りのため支援金を支給しています。

- ◇対象 第 3 子以降の子を養育している親権者 1 名
- ◇条件 美浦村に住所 1 年以上あること など
- ◇金額 1 歳児 / 2 歳児 年 2 万円
3 歳児 年 1 万円
- ◇注意点 自己申告になります。申請期限があります



詳しくは「いきいき子育て支援金」で 検索

社協の相談事業 《無料・要予約》

会場：老人福祉センター ◎予約受付 TEL：885 - 7080

心配ごと相談所

相談日：第 1・3 月曜日
(祝祭日の場合は翌営業日。※年末年始を除く)
時間：午後 1 時 ~ 3 時

弁護士による法律相談

7 月 相談日：7 月 26 日(水) 予約開始：7 月 3 日(月)
8 月 相談日：8 月 23 日(水) 予約開始：8 月 1 日(火)
9 月 相談日：9 月 27 日(水) 予約開始：9 月 1 日(金)
時間：午後 1 時 30 分 ~ 午後 4 時

社会福祉法人

美浦村社会福祉協議会・
美浦村デイサービスセンター

〒300-0424
茨城県稲敷郡美浦村受領 1546-1
TEL：029-885-0038
(社会福祉協議会事務局)
：029-885-8885
(美浦村デイサービスセンター)
FAX：029-840-4552
ホームページ
：http://www.mihoshakyo.jp

美浦村老人福祉センター・

ボランティアセンター・
美浦村自立支援センター「ホープ」

〒300-0421
茨城県稲敷郡美浦村木原 150-2
TEL：029-885-7080
FAX：029-885-1042
(福祉センター・
ボランティアセンター)
TEL：029-885-6010
FAX：029-886-3633
(自立支援センターホープ)

※これらの事業は赤い羽根共同募金の配分金、社協の会費を財源として行われています。



美浦でみつけた懐かしい風景

美浦村の懐かしい風景をみつけに、安中地区へ行ってきました。自然や歴史を感じる場所を再発見。この4つの風景、何処か分りますか。

答えはしゃきょうだよりの中にごっそり載せていますので、探してみてください。



問1. 霞ヶ浦湖岸のほとんどはコンクリートの防波堤ですが、こんな砂浜に出会えることがあります。



問2. 湖畔から望む夕日。季節により様々な風景を楽しませてくれるのも、霞ヶ浦の魅力です。



問3. 霞ヶ浦のすぐそばの高台にあるお堂です。地域の方々が掃除をしてくれており、こころ落ち着く場所です。



問4. 山の奥にある立派な神社。奈良時代に、安中24ヶ村の総鎮守になったと伝えられています。

梅雨明け直後に要注意！熱中症の予防と対策

梅雨が明けて気温が上がると、熱中症になる人が急増します。暑さはまだ体が慣れていないためか、特に梅雨明け直後が多いそうです。暑い日はもちろんですが、それほど暑さを感じない程度の気温でも、年齢や体調などの要素によって、熱中症の症状を起こすことがあります。

熱中症というのは、体から水分が失われる「脱水」が最初に起る病気です。この脱水状態は、脱水症になりかけていても自覚症状がないため「かくれ脱水」と呼ばれています。かくれ脱水は熱中症の最初の段階です。熱中症は人によって症状の重さや進行度は異なりますが、必ず最初の段階にこのかくれ脱水があります。

熱さを感じると、体は体温を調整するために汗をかくて内部の熱を外に出します。その結果、体からは水分が失われ脱水状態になります。また、同時にナトリウム（塩分）も失われます。ここで水分とナトリウムの補給をしないと、体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなります。これにより体内に熱がたまり、めまい・立ちくらみ・大量の汗など熱中症の初期症状が現れ始めます。

そこで、熱中症の予防と対策を
《水分》なんといっても水分補給は最重要。のどの渇きを感じる前にこまめに水分を摂りましょう。のどの渇きを感じた時ではもう遅いという説もあるようです。飲み方も一気に飲むのではなく、口の中で一旦噛むように、ゆっくりと。特に高齢者や子供はこまめに飲むようにしてください。

《塩分》水分と塩分・糖分が摂れ、吸収が良いスポーツドリンクが最適ですが、水やお茶の場合は塩分補給に梅干しがおすすです。塩分の他にクエン酸、ミネラルなどが摂れます。

《室内》意外にも室内で熱中症を発症するケースが多く見られます。節電も大事ですが、無理な我慢は禁物です。扇風機やエアコンを使った温度調整、換気やカーテン、スタシなどで室温を上げりこへしませよう。

《外出》外出時には日傘や帽子の着用をし、こまめに休憩を。服は通気性の良い、吸湿・速乾のものを着用しましょう。最近では冷却スプレーや、保冷効果のある商品などがたくさん販売されていますので、暑い場所に行く際に利用するのも良いでしょう。